

# 平成30年大磯町議会

## 6月定例会一般質問（6月7日・8日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
1 3番 吉川 重雄議員 （90分） 9:05～10:35	<p><b>1. 中崎町政の課題と要因を問う</b></p> <p>5月13日に大磯町議会報告会が開催され、多くの町民の方々が参加された。その報告会において、今までにない、町政に関する厳しいご意見が数多く出された。</p> <p>そこで、以下の点について、課題に対する要因は何か、町民への対応に問題はないか、課題に対する町長の政治姿勢などについて、町長の見解を求める。</p> <p>（1）中学校給食が中止になった要因は何か。また、町長の責任の取り方は十分か。</p> <p>（2）若い町職員が入庁後、3～4年で中途退職することが続いているが、その原因を何と捉えているか。</p> <p>（3）学校法人東海大学に町有地を売り払ったにもかかわらず、東海大学医学部附属大磯病院の整備計画が頓挫している。町民の生活に影響は及ばないか。</p> <p>（4）大磯恒道会の運営は正常化されたか。新しい理事長との面会は行われたか。</p>	町長

<p>2 2 番 清田 文雄議員 ( 50 分) 10 : 55 ~ 11 : 45</p>	<p><b>1. 町長の 2 期 8 年間の公約成果をどのように評価するのか</b> 中崎町長は 2 期目の任期である 8 年目の最終年を迎えられている。平成 30 年度施政方針では、これまでご自身が進められてきた、さまざまな取り組みの成果である「つぼみ」を「開花」させる年にし、この循環を絶やさず、誰もが安心して暮らし、町に住み続けたいと思う人の輪を広げていくことの抱負を述べられた。確かに在任中、さまざまな取り組みをされ、「つぼみ」から「開花」しようとしている事業はあるが、課題として残されている事業もある。全体として、提案事務事業の成果の割合をどのように捉えられているかを聞きたい。</p> <p><b>2. 町の空き家対策について</b> 以前から空き家対策について、各議員からも質問がされていた。大磯町でも急速な高齢化によりさらに深刻な問題になっていると思われる。人が住まない空き家となった場合、先日の広島県向島の脱走犯の潜伏に空き家が利用され確保まで長い時間を要したことのように、時として犯罪に使われたり、建物の倒壊による被害、景観上の影響、ごみ等の放置による衛生上の影響とこれらの悪影響は複合的に発生し、放置される期間が長ければ危険度が増すことを考えると古い空き家ほど対策が必要なことを示している。そこで、以下の点について質問する。</p> <p>(1) 平成 29 年 12 月に改訂された「空家対策に関する指針」の中で空家実態調査(水道休栓状態)により、約 1 万 4,000 棟の町内全建物のうち、約 1,700 件の水道が休栓の状況で空き家状態(空家率 12.6%)になっているとのことだが、このことについて、平成 27 年 5 月に施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」施行以後、町の対策はどのようなことをしてきたのか。</p> <p>(2) 現状のまま放置することが危険・衛生上有害・景観を損ねている、その他周辺的生活環境の保全を図るため放置することが不適切であると認められる家屋のことを「特定空家等」というようだが、現在何棟ぐらいあるか確認しているか。</p> <p>(3) 空き家と税の関係は。</p> <p>(4) 町シルバー人材センターと結んだ空き家対策に関する協定とは。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
--	---	-----------------------

<p>3 15 番 柴崎 茂議員 ( 90 分) 13 : 00～14:30</p>	<p><b>1. 再三問う 中学校給食を中止とした問題の本質は</b> (1) 再開なくして平成 30 年度予算で 1,080 万円の調査費の計上があった。積算根拠は何か。どこに調査を託すのか。 (2) 契約解除の書面はあるとしてきたが、なぜ議会にウソを言ったか。</p> <p><b>2. 3月議会の反省が3月20日の議会運営委員会で行われた。議員への口封じを町長が頼んだのか</b> 3月議会は最終日3月19日まで行われた。まだ正確に何を話したかの会議録は、20日には出来上がっていなかったはずだ。それにもかかわらず20日に開かれた議会運営委員会で、「ある議員の言葉遣いを注意する旨の3月議会の反省の弁があった」とされた。4月16日の全員協議会でその報告を議会運営委員会の委員長の坂田議員から報告された。それは誰のことかと尋ねると、柴崎議員あなたのことだと言われた。そのように仕向けたのは町長か。</p> <p><b>3. 坂田議員の議員辞職と町長へのあいさつについて</b> 坂田議員が5月8日辞職し、町長選挙に立候補する旨の表明があった。その際、町長に進言しても聞き入れられないとの表現があったが、何を進言され、聞かなかったのか。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>4 13 番 渡辺 順子議員 ( 80 分) 14 : 50～16 : 10</p>	<p><b>1. (仮称)大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画(案)の情報公開を早急にすべきでは</b> 5月13日行った議会報告会に参加した町民から、(仮称)大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画(案)について周知と説明が不足している、このまま決めてしまうのか、との意見が多く出た。また、5月7日「町民立環境ネットワーク☆大磯」という団体から町に対して、計画の①事業のコンセプト②計画への町民参加について③検討会議を含む昨年度の流れ④現時点の計画案⑤事業予算⑥今年度以降の事業の計画予定⑦進捗状況を逐次「広報おおいそ」へ掲載すること、また町民が意見を表明し提案できる開かれた場を作ってほしい、との要望書が提出され、5月末までに回答を求めている。同日議員に要望書のコピーが配付された。 今年度町は関係機関との協議をしようとしているが町民不在のまま進んでいる。情報公開を急ぐべきではないか。</p> <p><b>2. 町内公共施設の案内板の設置を優先的に</b> 施設利用者を円滑に目的の場所まで誘導するために、施設の位置情報となる案内板を適切な場所に設置することは重要な住民サービスであり、交通安全の視点からも欠かせない情報である。しかし町内を通過する国道1号線沿いには、生涯学習館・町役場・大磯中学校・小磯幼稚園入り口など数カ所の案内板しか見当たらない。また、国道からの入り口だけでなく、町道幹線にもわかりやすい案内板が必要ではないか。 子育て支援センターなど以前から案内板設置を要望している施設もある。町内33の主要な公共施設案内板の設置の考え方と取り組み状況はどうなっているか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>5 8番 奥津 勝子議員 (60分) 9:00~10:00</p>	<p><b>1. 福祉と交通の連携について問う</b>  平成30年3月、第七期大磯町高齢者福祉計画・介護保険事業計画が策定された。策定時のアンケート調査には、高齢者世帯への外出支援など、地域社会を支える担い手として活動していけるよう支援するとある。  (1) 福祉と交通の連携について町の考え方は。  (2) 平成28年度より生活支援コーディネーターを配置し生活支援のニーズや資源の発掘に努めるとあるが、高齢者からのニーズは。  (3) デマンド交通の範囲の拡大は。</p> <p><b>2. 情報活用能力を育成する教育を問う</b>  平成29年3月の学習指導要領改訂に伴い、2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化される。コンピューターを動かすプログラムをすることで論理的に考える力を養うことを目的としているが。  (1) 現状とこれからの取り組みについて。  (2) 教育のIT化に向けた環境整備は。  (3) 教職員の働き方改革の取り組みへの影響は。</p>	<p>町長</p> <p>町長 教育長</p>

<p>6</p> <p>11 番 玉虫志保実議員 ( 90 分) 10 : 20 ~ 11 : 50</p>	<p><b>1. 現在の大磯町立中学校の生徒の昼食について</b></p> <p>大磯中学校では、P T Aによる藤沢のN P O法人の注文弁当の試行が5月の連休明けから始まっているが、大磯中も国府中でも生徒は基本的に家庭弁当を持参している。登校途中にコンビニで購入も許可するということになっているが、コンビニで販売されている惣菜は、添加物がないものも稀にはあるが、弁当については、おにぎりできさえも保存料等の添加物が入っている。デリバリー実施中に述べていた、中学生への給食に対する町の思いや栄養についての考えはどこに行ってしまったのか。現在、給食提供は停止している。この期に及んでデリバリー給食はないと思うが、自校式などの給食を実施するとなると実施は早くても3年後と考える。</p> <p>生徒が「落ち着いている」を理由に町は在校生に対し何もしなくて良いのか。また、学校やP T A任せで良いと考えているのか。</p> <p><b>2. (仮称) 大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画 (案) について</b></p> <p>この計画案では、「大樹」というモニュメントや池がある駅前広場の交通島を現在の半分以下の面積に縮小するとなっている。そこで、以下の点について質問する。</p> <p>(1) 現在と交通島縮小後の植栽のメリットとデメリットは。</p> <p>(2) 一番新しい「湘南発祥の地」の石碑は設置されたのが平成 28 年 2 月。駅前の状況は当時と変わらない。交通島を縮小したほうが車両の通過がスムーズなことなどわかりきっていたと思うが、現在のように設置とういうことは、この計画は当時には全くなかったと理解してよいのか。</p> <p>(3) 交通島を縮小して作ろうとしているタクシープールと交通島を回る車両についてはどのように考えるか。</p> <p><b>3. 大磯町の男女共同参画推進プランについて</b></p> <p>平成 29 年 2 月に大磯町は第 2 次男女共同参画推進プランを策定している。平成 30 年 5 月 16 日には女性の議員を増やすことを促す「政治分野における男女共同参画推進法」が成立した。大磯町での女性議員の多さは進歩的と言えるが、その他の実施事業において、特に町審議会等への女性の参加率は低く、男女共同参画とは言い難い。そこで、以下の点について質問する。</p> <p>(1) まちづくり審議会参加など、政策・方針決定における女性の参加促進についてはどう考えるか。例えば、大磯港みなとオアシス推進事業に係る会議、(仮称) 大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画 (案) 等に係る会議への女性の参加についてはどうであったか。今後についてはどう考えるのか。</p> <p>(2) 上記の推進プランにおいて、区長副区長の女性割合は、1.5%と低い。地域社会における男女共同参画社会の促進についてはどのように考えているのか。女性が意見を言えているか。また女性の意見が反映できていると考えているか。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
--	---	--

<p>7</p> <p>1 番 竹内恵美子議員 ( 60 分) 13 : 00 ~ 14 : 00</p>	<p><b>1. 「東の池の蓮の花」のその後について</b></p> <p>(1) 昨年、「東の池」の水抜きをした後、捕獲された魚は相模原市の神奈川県水産技術センター内水面試験場に持ち帰られた。魚たちの調査結果はどうか。</p> <p>(2) 外来種がたくさんいたが、その後はまだ池に逃がす人がいるというが、町の認識は。</p> <p><b>2. 認知症対策について</b></p> <p>厚生労働省は高齢者の増加に伴い、平成 27 年 1 月に「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」を策定した。町では、平成 30 年度から認知症初期集中支援チームを立ち上げた。多くの町民の方が認知症を理解することで、早期発見、早期治療の対策がとれる。</p> <p>(1) 認知症初期集中支援チームの役割は。</p> <p>(2) 認知症ケアパスの利用は。</p> <p>(3) 地域包括支援センターの関わりは。</p> <p>(4) 認知症初期集中支援チームの周知は。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>8</p> <p>9 番 二宮加寿子議員 ( 50 分) 14 : 20 ~ 15 : 10</p>	<p><b>1. 持続可能な開発目標SDGsについて</b></p> <p>持続可能な開発目標SDGsが2015年9月に国連サミットで採択された。SDGsは国連加盟193カ国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標である。日本政府においても2016年にSDGs推進本部を設置し、同12月にSDGs実施指針を策定した。神奈川県においても実施指針の策定に向けて準備を進めていると聞いているが、県の取り組みに対する町の関連性や今後の方向性などについて問う。</p> <p><b>2. 社会全体で子どもを守る対策について</b></p> <p>登下校時などに子どもが犯罪に巻き込まれぬよう地域住民でさらなる見守りの体制整備が必要と考える。そこで、以下の点について問う。</p> <p>(1) 通学路の安全対策について。</p> <p>(2) 時計の設置と町の夕刻メロディー放送の時間帯について。</p> <p>(3) 防犯ブザーの点検について。</p> <p><b>3. 自転車の交通ルールの遵守とマナーの向上について</b></p> <p>自転車は便利な乗り物だが、自転車が関係する交通事故も増えている。そこで、以下の点について問う。</p> <p>(1) 基本的な交通ルールと自転車安全利用5則の励行の普及啓発について。</p> <p>(2) チリリン・スクールの開催状況とチリカの普及について。</p> <p>(3) 自転車の点検整備と「TSマーク」の普及について。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長 教育長</p>

<p>9 12番 鈴木 京子議員 ( 90 分) 15:30~17:00</p>	<p><b>1. 税込減と予算編成の関係について</b>          明治記念大磯邸園の国営化で、4,000万円を下らない固定資産税が減収となる見込みである。しかし、全額が町の財政に影響を及ぼすわけではない。誤解のないよう、地方交付税制度と予算編成について詳細な説明を求める。具体的には平成28年度決算の数値を用い、基準財政需要額に算定される主な個別的項目と金額の概要、基準財政収入額の項目と金額を交付税制度がわかるよう、示されたい。「予算がない」「財政難」の解明を行いたく考える。</p> <p><b>2. 町の福祉事業は町民本位で運営されているか</b>          独居高齢者、障がい児者、ひとり親家庭や低額所得者など、さまざまな悩みや不安を抱えて生活している町民に必要な支援は届いているか。町の状況把握と対応について問う。また、恒道会の運営改善状況、かたつむりの家の明け渡し裁判と施設利用、サービス提供について問う。</p> <p><b>3. 教育委員会の諸課題について問う</b>          (1) 教育委員会定例会では、議会答弁を事後報告している。合議制をとる教育委員会の議論と教育長答弁に意思疎通は図られているか。          (2) 教育研究所移転において相談体制と適応指導教室への配慮は十分か。          (3) 中学校給食の調査内容に無駄な部分はないか。懇話会に経費の心配をさせてよいのか。アンケートを実施する場合の内容と時期は。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p>
--	--	--

9名 21問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。